

高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄ブルーライン）の延伸に関する調査

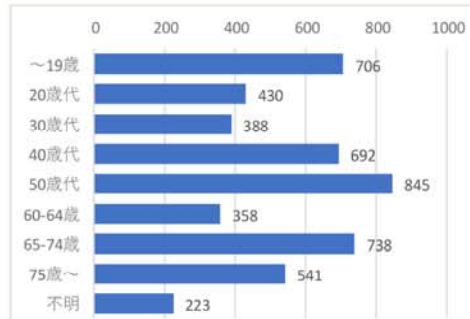
沿線の住民を対象とした交通行動に関する調査結果

調査概要

調査地域：本路線の沿線地域
 調査対象：沿線地域に居住する
 5,000世帯
 抽出方法：住民基本台帳から
 無作為抽出
 調査方法：調査票の郵送留置、
 調査票の郵送回収 または
 WEB回答
 調査期間：令和2年10月12日 から
 11月2日
 回収結果：1,995世帯（回収率39.9%）
 4,921個票

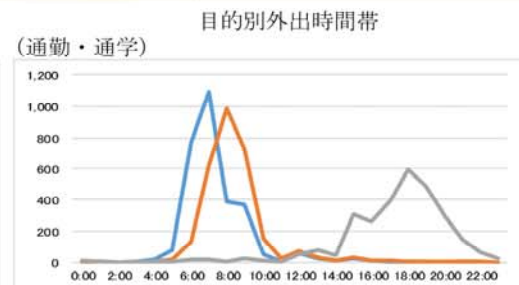
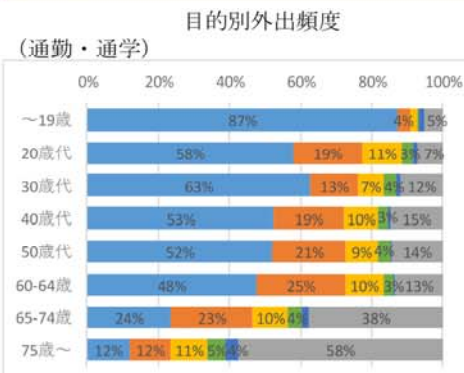


調査結果① 回収結果

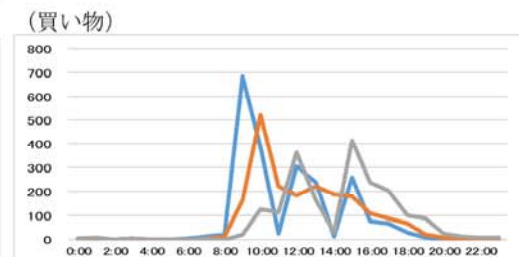
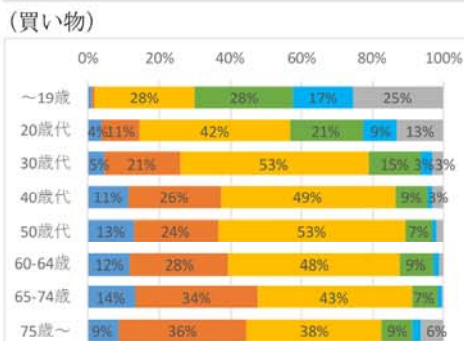


本調査では、地域や年齢層に、偏りが生じることなく御回答をいただき、地域の傾向を十分に把握することができました。

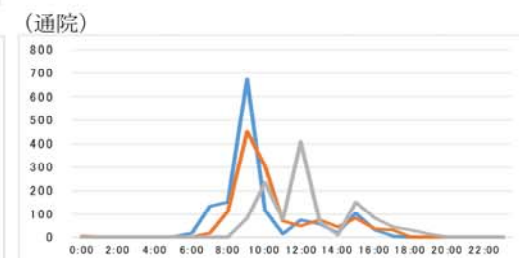
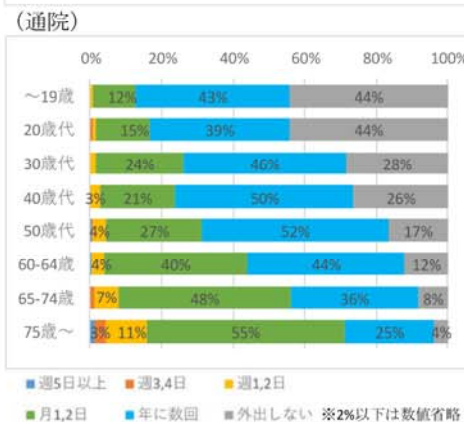
調査結果② 目的別交通行動 (1/2)



『通勤・通学』では、朝7時台の外出が多くありました。



『買い物』では、30歳代以上は、週1回以上の頻度で外出し、朝方に外出する傾向がありました。

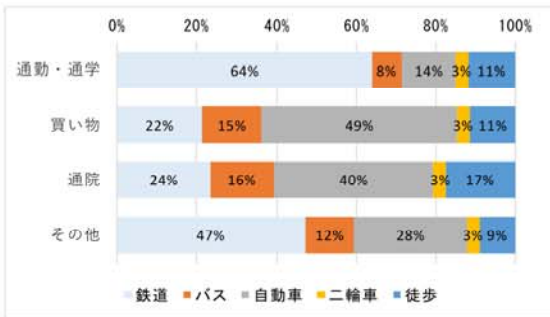


『通院』では、年齢が上がるにつれ外出頻度が増加している傾向がありました。

■ 週5日以上 ■ 週3,4日 ■ 週1,2日 ■ 月1,2日 ■ 年に数回 ■ 外出しない ※2%以下は数値省略

調査結果②(2/2)目的別交通行動

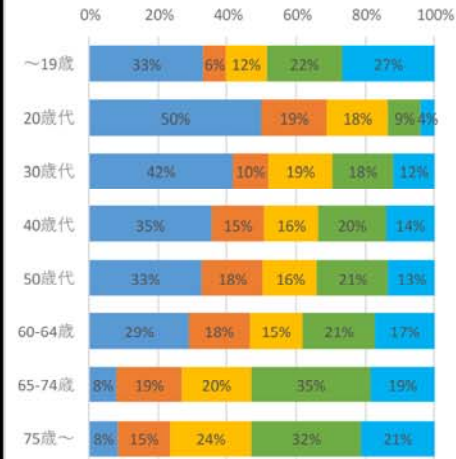
目的別代表交通手段



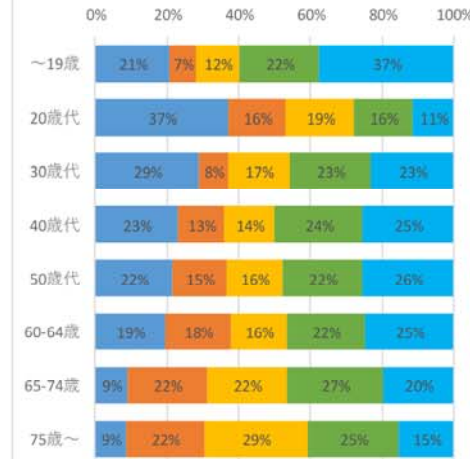
目的別代表交通手段については、『通勤・通学』では、6割が鉄道を利用していました。また『買い物』では、自動車での移動が半数程度となっています。『通院』についても、自動車での移動が多くありました。

調査結果③ 交通手段別集計

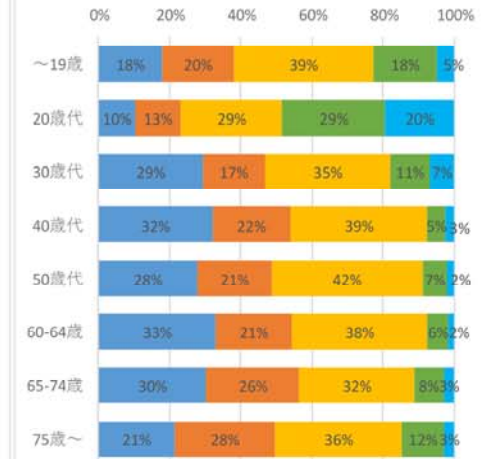
(鉄道利用頻度)



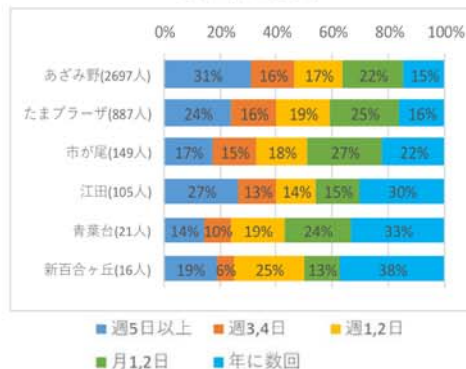
(バス利用頻度)



(自動車利用頻度)



(駅別利用頻度)

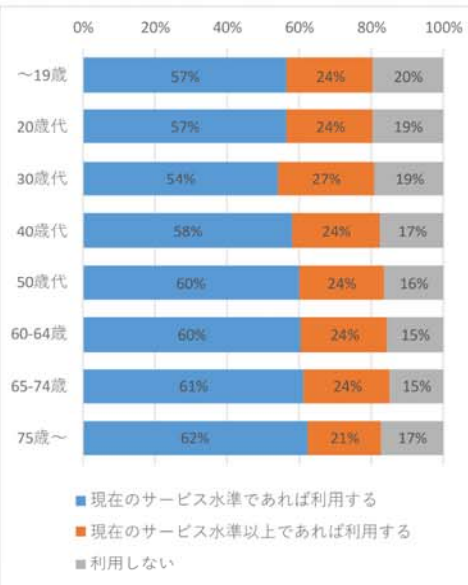


(駅までの交通手段)



交通手段別の移動では、『鉄道』では半数程度、『バス』では4割弱で、65歳未満の方が週3日以上利用し、『自動車』では20歳代を除く年齢層で約8割が週1日以上利用しています。また、鉄道利用者の多くがあざみ野駅を利用し、駅までは、バスを利用していることがわかりました。

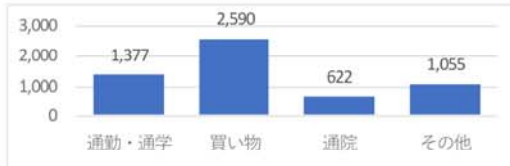
調査結果④ ブルーライン延伸後の利用意向



(延伸後の利用意向)



(延伸区間の想定される利用駅)



(延伸区間の利用目的)

延伸後の利用傾向については、8割以上で利用していただける意向があることがわかりました。

利用する駅では、嶮山付近の利用者が最も多く、利用する目的としては、買物が一番多く、通勤・通学や、旅行・レジャー等の御回答もありました。

今後について

アンケートに御協力をいただいた市民の皆様、大変ありがとうございました。本調査結果では、大変多くの御回答をいただき、様々な情報を取得することができました。

今後も、引き続き、市民のみなさまからいただいた大切な情報を活用し、開業後の公共交通ネットワークやまちづくりの検討を進めてまいります。

【問い合わせ先】

横浜市都市整備局都市交通課

電話：045-671-2021

メール：tb-toshiko@city.yokohama.jp